勉強時間は作るもの。正論すぎるかもしれ ませんが…、向き合ってほしいです。

|勉強を頑張りたいときは、「<mark>計画を立てて</mark>」ほし いです。なぜなら勉強とは、「ひまな時にする事」 <mark>ではない</mark>からです。

「何時何時は、理科をする。」こう強制的に予定 を決めておくことで、勉強に向かいやすくなり ます。No,39でお話しした日報を参考にしてみ てください。

勉強は、こま切れ時間にやってみません か。30分×3本で90分のように。

|ゲーム→30分数学→夕食→30分歴史→ お風呂→30分英語→Youtube→睡眠。 No.26でもお話ししましたが、このように、 <mark>サンドイッチのように過ごす</mark>のはいかがでしょ うか。いけそうですか。

ポイント1:予定を考えるときは、科目名だけ にします。単元や教材は、そのとき考えれば良 |いです。

|ポイント2:科目は<mark>|日2~3科目</mark>学びましょ う。<mark>飽きずに</mark>勉強を進めることができます。



出典「壁ドン!」 佐久間力氏 小学館 より

☆☆43 接続詞の that(基本)

現在の文で、主語が三人称単数 (I・you 以外の I人 (Iつ)) のとき、be 動詞は isとし、一般動詞には S または es をつける。

(例) He likes TV. (例) Does he play tennis? (例) He doesn't like TV.

接続詞の that は、「今から文が続くよ~(だから長くなるよ~)」と、 話し相手に対して、心構えをさせる目じるしとなる。

I know that ~. : 私 知ってます。 that 以下だと(ということを)。

I think that ~. : 私 思います。 that 以下だと

I believe that ~. : 私信じてます。 that 以下だと。

問題**225** 文を完成させなさい。

(1) I know that Aki has a dog. (2) I know that Taro is a doctor.

私 知ってます。 亜紀が 「

]。ということを。

私知ってます。[

]だということを。

(3) I think that Aki is a good tennis player.

私 思います。亜紀[

]だと。

(4) I believe that Kumi will come here soon.

私信じてます。[

7と。

(5) My sister thinks that I ate her cookies. **給**her: 姉の

私の姉思ってます。[

]と。

同時通訳方式読解法。前から、まとまりごとに訳し、意味をつかむ読み方。 できるだけ、「言葉を少なく意味をつかむ」。これをテーマに英語を勉強して ほしいです。よって、「私は知っています。」を「私知ってます。」のように、 表記しました。ちなみにこの後、「私知ってる。」になります。

四角語句を、線の上に 練習するでごんすよ。



英文には、必ず動詞が1つある。つまり、 be 動詞と一般動詞は、一緒に使えない。

接続詞のthatは、名詞の働きをする。 Aki(名詞)を例に考えてみますね。

Aki is happy. (主語になる。)

This is Aki. (be 動詞の次に来る。) I know Aki. (一般動詞の次に来る。)

このように 単語ならば、名詞はそのまま 書けばよい。しかし、単語ではなく、 文が続くときは…(つまり…)、

I know Aki .

(私は亜紀を知っています。) ↑ここが文ならば…

I know that Aki has a dog.

主語 動詞 ~

というわけです。←ほお… つまり、(以下に続く)

接続詞の that の本質について。

話し手が、「今から長くなるよ(文だか ら)」と、聞き手に対して、心構えをし てもらうための目じるし<mark>として、that</mark> を置く、というわけです。

そう、that とは、目じるしなのです。

that 以下は、「主語+動詞~」が続く。

that 以下の主語の訳について。 that 以下の主語につける助詞ですが、 「~は」か「~が」かは、文の内容で、 というより、 あなたが理解しやすいよう に考えて大丈夫です。

主語が自分以外の時は、

「~と思ってます。」と訳すと、 自然な日本語になります。

225(5)の her のように、代名詞は固有 名詞で訳します。今回は「姉の」です。

そろそろ英文法も、複雑になります。 この接続詞の that は、最重要の一つです。

この No.43 は、中2の | 学期内容です。No.41 の 第四文型と同じくらい大切です。大切という よりも、「<mark>英文の核</mark>」と言ったほうが、正しいか もしれません。「接続詞」ですので文が長くなり、 表現の幅を、広げてくれるからです。

第四文型と接続詞の that は、他の文法との相性 が良いため、<mark>合体しがち</mark>です。たとえば···

- ・「第四文型+接続詞の that」
- ・「接続詞の that+動名詞」
- ・「第四文型+間接疑問文」のように。

ですので、No.41 の第四文型と、この接続詞シリ -ズは、特に集中力を上げて、頑張ってみてく ださい。





出典「壁ドン!」 佐久間力氏 小学館 より

☆☆43 接続詞のthat(基本)

四角語句を、線の上に 練習するでごんすよ。



※「動詞の前のすべて」が主語と考える。 すか。) 疑問詞の主語は、三人称単数となる。

英文は、「主語+動詞~」でできている。

(例) The book on the desk is mine. (机の上にある本は、私のものです。) Who makes dinner? (誰が夕食を作りま これ全部が主語

問題226 日本語の最初と最後を最初に書き、そのあとに that を続けます。

(1) 私は、亜紀がテニス選手だと知っています。

(2) **私の姉は**、私が姉のクッキーを食べたと 思っています。

(3) あなたは、太郎が先生だと 知っていますか。

最初と最後と that → _____ __ _ _ _ _ ~ ?

問題227 文を完成させなさい。緑色が「文(主語+動詞~)」になることに、注目してください。

登場順に意味をつかむ。 接続詞の that は、こう考える。

問題 227 は、英文の語順に合わせて日本文を作りました。

「主語+動詞」→「接続詞の that」→「<mark>以下</mark>」の順に、英文を作る訓練をしよう。

接続詞の that の文は、 以下のような「型」です。 I know that 主語+動詞~.

(1) 私 知ってます。 彼が先生だということを 。 ☆彼は先生です。

下線は、that 担当です。

(2) 太郎 知ってます。 亜紀が毎日英語を勉強している、ということを 。 🏚 亜紀は毎日、英語を勉強しています。

Taro knows _____ English every day.

進行形ではありません。

(3) 私の姉思ってます。私が姉のケーキを食べたと。 🏫私は、姉のケーキを食べました。

My sister thinks _____ her cake.

食べた。ですので. 過去形ですね。

No. 43

折 た は 挑 戦 緊張 す ഗ て き か

中3の勉強は、予習中心に進めたいです。 できれば、直前の春休みからスタートを。

中3数学の前半は、計算がメインです。展開→ 因数分解→平方根→2次方程式です。「計算? よ~しチャンスだ!」と思うまでは良いですが、 <mark>ちょっと厄介なこと</mark>があります。それは・・・ 解き方一つひとつが、積み重なる点です。

「だからなぁに?」そう思うことでしょう。 平方根と2次方程式は、因数分解が多投されま す。ですのでまずは、<mark>展開と因数分解を、完全</mark> にものにしてください。

部活も、最後の大会に向けて忙しくなります。 そこで、私なりの対策をお話しします。中3 直前の春休み中に、数学の予習をしましょう。 さらにできれば、理科の最初が「<mark>物理」です。</mark> なかなか手ごわい単元ですので、これも3月か ら、取り掛かっておきましょう。







出典「壁ドン!」 佐久間力氏 小学館 より

☆☆43 接続詞の that(基本)

英単語の覚え方:ローマ字読みで覚える。

book は「ボオク」、China は「チナ」、write は「ワリテ」のように。 これを2回、紙に書く。そして3回目は、何も見ないで書いてみよう(自分テスト)。 **主語が複数なら are**、三人称単数は **is**。

be 動詞:です。います。あります。

四角語句を、線の上に 練習するでごんすよ。

接続詞のthat は省略できる。: これまで散々、「that は、文が長くなる目印だからね!」と言ってきましたが、 陳謝したいことがあります。そう、それは…、この that…、目印なのに、省略できるのです。ごめんなさい。

動詞

接続詞の that の文

主語+動詞+that+主語+動詞~.

(主語は、that 以下ということを…する。)が公式だが、

接続詞の that は、よく省略される。その場合、

「主語+動詞+主語+動詞~.」と、特徴的な「型」になる。

be 動詞について イコールと考える。(2)(6)対策 be 動詞は、「です」の場合、イコールを表す印だと 考えてください。 When I was young, Aki isn't busy.

(私は若いころ)

(亜紀は忙しくありません。) Aki ≠ busy

I = young

このようにイメージしてください。

問題228	接続詞の that	を省略して、	文を完成させなさい。	
(1) 私知ってる。大郎が犬を飼っていることを、				

大郎知ってる	亜紀けたしいと	bugy ビブノ・形容詞

主語

(3) 私知ってる。彼が先生だと。

主語

(4) 私の姉思ってる。私が姉のケーキを食べたと。

(5) あなた知ってますか。太郎が先生だということを。

(6) 太郎 知ってた。**亜紀は忙しい**と。 🏚 be 動詞を使います。

Taro busy. 主語

(7) 私 思った。 亜紀は犬が好きだと。

動詞

主語

a dog.

下線は、that 担当です。 know ノウ : 知っています。

teacher.

her cake.

knew = = - : 知っていました。

think スィンク: 思います。 thought ソート: 思いました。

> 質問文でも…。 that 以下は、 ふつうの文 「主語+動詞~]

の形になります。

文が過去だと、that 以下の動詞も、過去形になる。

a teacher?

(例) 私は思いました。久実は犬を飼っていると。 I thought that Kumi had a dog.

「久実は犬を飼っている。」の「飼っている」に 注目します。現在形の日本語ですが、文全体が過去 の文ですので、英語では過去形(had)にします。

動詞



勉強の進め方で困ったら、親や先生に、 体験談を聞いてみましょう。

「お母さんは、<mark>どうやって『ダラダラタイム』</mark> <mark>と戦ったの</mark>?」「良かった勉強法を教えて」「<mark>成</mark> 績が伸びないとき、親にどんな事言われたの?」 など、あなたが不安な事を聞いてみてください。 <mark>親である前に、人生の先輩</mark>です。きっと味方に なってくれるはずです。



出典「壁ドン!」 佐久間力氏 小学館 より

英単語の覚え方:教科書の余白に、そのページの難しい「英単語と意味」を、セット で書きこむのです (予習で)。そのページに出てくる分からない単語は、そのページ内 私 (塾長) も、32ページの単語テスト、 **のどこかに、すでにある**ことで、復習や単語の暗記がすぐできます。

「解答〕接続詞の that (文の構造)

5分後にするよ。と言いやすいです。

43 接続詞の that (文の構造) [解答]

問題225(1)犬を飼っている

- (2) 太郎がお医者さん
- (3)は良いテニス選手 🏚 「は」でも「が」でも良いです。
- (4) 久実はすぐに、ここに来る ※すぐここに、も可。
- (5)
私が姉のクッキーを食べた

My sister thinks that I ate her cookies. この「her」は、my sister のことですので、2回目です。 これまで何度も、2回目は、日本語にしないほうが良いとお話ししてきましたが、この her は、 「だれだれの」と所有格(~の)です。所有格は、日本語にしたほうが良い場合が多いです。ちなみに、 代名詞を日本語にするときは、以下のように、<mark>固有名詞で</mark>訳しましょう。

(例 I) Taro asked Aki to lend him her pen. (太郎は亜紀に、太郎に亜紀のペンを貸してと頼みました。)

(例2) Taro was sleeping when I visited him. (太郎は寝ていました。私が太郎を訪れた時。)

この例 I 例 2 において、代名詞(him と her と him)を訳さなくても、文の意味は、十分分かります。 ですので私は、「できるだけ」代名詞は訳さないほうが良い。と考えています。ですが、

訳さないとは、無視をする。という意味ではありません。しっかり「見て」「聞いて」、こう考えてください。

A パターン「これは、文の意味を理解するうえで、きっちり訳すべきだな。」

Bパターン「これは、文の意味を理解するうえで、訳さないで流すほうが、ぼくは(私は)理解ができるぞ。」

このように、A パターンか B パターンかを、瞬時に判断できるようになってほしいのです。ですので、 くり返しになりますが、無視するのではなく、頭の中で、きっちり訳として意識するか、それとも

意識しないほうがいいのか。ここを判断してほしいのです。※慣れると無意識にできます!

この方法は、慣れの要素が強いですので、できるだけ長文を読んで、感覚を身に付けて行ってください。

追伸:英語の長文(中文でも可)を読むことは、「他言語を日本語で理解するスピード」を、鍛えてくれます。また、

この「代名詞を訳すか訳さないか問題」も、自然に解決できます。ですので、この英文法プリントシリーズを、 できれば中3の夏休み中には終わらせて、秋からは、中文読解に進んでください。

問題226(1)I know that (2)My sister thinks that (3)Do you know that

問題227(1)that he is a teacher (2)that Aki studies (3)that I ate

<mark>問題228(1)</mark>I know Taro has a <mark>(2)</mark>Taro knows Aki is busy (3)I know he is a

(4)My sister thinks I ate (5)Do you know Taro is (6)knew Aki was (7)thought Aki liked